

1.和文英訳問題の3パターン。

大学受験における和文英訳問題のパターンは、大きく以下の3つに分けることができます。

- (1)イディオム・構文型
- (2)慣用表現・定型表現型
- (3)発想転換型（和文和訳型）

一つずつ確認していきましょう

2.「イディオム・構文型」の和文英訳問題とは。

これは、構文集・熟語集等に載っているお決まりの構文やイディオムを知っていればカンタンに解答を導き出せるタイプの和文英訳問題です。以下がその具体例です。

- ①「講演者がそう言ったとたん、聴衆はどっと笑いだした」
- ②「健康のありがたみは、失ってみて初めてわかる」

【解答&解説】

- ①前半部の「～したとたん」は、As soon as S+V～(～するとすぐに)を使えば良い。後半部の「どっと笑い出す」は burst into laughter を使えば良い。そうするとこんな模範解答が出来上がる。

As soon as the speaker said so, the audience burst into laughter.

- ②全体を It is not until ~ that S+V…(～してはじめて…する)でまとめれば良い。そうするとこんな模範解答が出来上がる。

It is not until we lose our health that we realize its value.

3. 「慣用表現・定型表現型」の和文英訳問題とは。

これは、熟語や構文といったものではないが、知らないとどうしようもないといった種類の表現を含む和文英訳問題です。以下がその具体例です。

「地球は太陽系の一惑星である」

【解答&解説】

「惑星」は planet。「太陽系」は the solar system。特に後者については知らないとどうしようもないものだ。

The earth is a planet which belongs to the solar system.

4. 「発想転換型(和文和訳型)」の和文英訳問題とは。

これは、まず日本語を自分が英語に直せる文章に作り直すところからとりかからなくてはならない(これを「プリエディティング」という)タイプの和文英訳問題です。その日本語が「要するに何を言いたいのか」を(日本語の字面に惑わされることなく)よく考えてみる必要があります。頭の柔らかさと発想の転換が要求される問題と言えます。

うまく発想転換するための一番わかりやすいコツは、君に小学校一年生の弟[妹]がいるとして、

「その弟[妹]に説明するとしたら何て言う[説明する]だろう？」

とイメージして考えてみることです。

では練習問題をやってみましょう。

①「この店は年柄年中閑古鳥が鳴いている」

②「猫の手も借りたくらいだ」

【解答&解説】

①上記の発想で、以下のような言い換えが頭に浮かべられたか。

⇒「この店はいつも数人の客しかいない」

こう読み直せば、以下のような英文が作れる。

There are always only a few customers at this store.

あるいは

⇒「私は人々がこの店で買い物をしているのを滅多に見たことがない」

と読み直せば、更に簡単に以下のような英文が作れる。

I have rarely[seldom] seen people shopping at this store.

②要するに「私はとても忙しい」ということなので、I am very busy. がいい。

5.最も多いのが「発想転換型」。

以上3つのタイプのうち、最も多いのが「発想転換型(和文和訳型)」型です。実際それ以外のタイプの和文英訳問題も、「発想転換型」に対応する力をつけておけば、それを使って解けてしまうことが多いのです。

たとえば先程示した問題中の「聴衆」なども、the audience と書けなくても

⇒ the people who were listening to him[his speech]

彼の話聞いていた人々

と書けば全く問題ないのです。あるいは

「健康のありがたみは、失ってみて初めてわかる」

という問題も、「私達は病気になった後で、健康はとても大切だと実感するものだ」と読み直せば、

After we become ill, we realize (that) health is very important.

と、ほとんど中学英語で十分問題文の意味内容を表した英文を作ることができてしまうのです。

⚠たださすがに「太陽系」については、知らない(他の表現では)書きようがない。

6.大学受験の英作文は70パーセント書ければ良い。

それから覚えておいてほしいのは、大学受験における英作文の解答の平均点はせいぜい(100点満点に換算すると)40点程度だということです。

平均点が40点のテストで70点取れば、偏差値は相当なものですね。

それと同じで、大学受験の英作文問題は、**問われている内容の70パーセントを表現できれば御(おん)の字だ**と肩の力を抜いて取り組むことが大切なのです。

そのように考え方を変えるだけで、合格ラインの答案が頭に浮かんでくるのが往々にしてあるものです。

會もちろん大学受験レベルの構文を用いて書けるなら、それを使って書いた方がいい。それによって(同じ意味内容でも)加点を稼ぐこともできるだろう。ただこと「合格ラインに達する英文を書く」ということを目標に置くなら、それを使わなくても十分書けるのだ。

7.英作文攻略に必要な2つの力。

そこで大学受験の英作文を攻略する力をつけるための2つの目標が見えてきます。

一つは「英作文問題で頻出のイディオム・構文力」の強化です。

會これらについては「英作文用の構文集」等でその力をつけていく。

そしてもう一つは「プリエディティング(和文和訳)」力の強化です。

そのうち圧倒的に大切なのが後者です。なぜなら、**中学校三年～高校一年程度の英語力さえあれば(あとはプリエディティングさえうまくできれば)、実際には大学受験の英作文のほぼ90%は書けてしまうといっても過言ではない**からです。

會もちろんこれにプラスして冠詞についての知識、や基本的な英文構成ための知識、例えば

- ①一つの節には動詞は一つだけ。
- ②助動詞を二つ並べてはならない。
- ③関係代名詞の後には(S・O・C・所有格のいずれかの欠けた)
「不完全な文」が来なければならない。
- ④「時制」「数」「性」「人称」を間違えない。
- ⑤副詞を続ける場合は「場所+様態+時」の順に書く。

⋮

等が必須となるのは言うまでもない。

ではそのプリエディティングの力、つまり字面に惑わされることなく「要するに何を言いたいのか」という点から自分が英訳可能な日本文をまず発想する力はどのようにしてつけばいいのでしょうか？

基本は、先程も述べたように

「小学校一年生の弟[妹]に説明するとしたら何て言う[説明する]だろう？」

とイメージして考えてみるのですが、別の言葉で表現すればそれは

Keep It Short and Simple.

つまり「文章は短く簡潔に」です。

罫頭文字をとって「KISSの法則」と言う。

それでは、これからその手法を具体的に9つに分けて解説していきましょう。

8.プリエディティングのコツ9ヶ条。

(1)「要するに何を言いたいのか(伝えようとしているのか)」よく考えてみる。

これはプリエディティングの最も(大切な)ベースになる考え方です。

たとえば「思春期の子は扱いづらい」という日本文を英訳しようとする場合、

「思春期の子」は「十代の子供たち」ということだから teenagers でいい。

「扱いづらい」は「(扱うのが)難しい」ということだから difficult と考え、

Teenagers are difficult (to deal with).

で正解となります。

また「嘘も方便だ」という日本語の場合、「時には真実を語らない方が良い [嘘をついた方が良い]こともある」、あるいは「時には嘘も必要だ」と読み直せば

It is sometimes better not to tell the truth.

=It is sometimes better to tell a lie.

=Lies are sometimes needed.

と(これまた簡単な英語で)表現できますね。

(2)言い換える発想のベースで「論理」を意識する。

それから「何を言いたいのか」を考える上で役に立つ発想法として、論理を意識してみるということがあります。論理とは、簡単に言うと「イコール(例証・言い換え)」「逆」「因果」です。

◎「因果」とは「原因 ⇨ 結果」「結果 ⇨ 原因」の関係のこと。

たとえば、「大船に乗った気持ちでいてください」を英語にしたいという場合、

「心配いりませんよ。私がサポートしますから」 ⇨ 「原因」

と因果(結果とその原因)を意識すれば、

Don't worry because I will support you.

=You don't have to worry (about anything). I will help you anytime.

=(You can) Depend on me. Don't worry (about anything).

◎depend on は trust で言い換えてもいい。

と、カンタンに書けてしまいますね。

また「女の子の選り好みがあげしい」は、ということは「結果」として、「ガールフレンドを見つけるのに時間がかかる」ということですから、

It takes a long time for you to get a girlfriend.

と表現してもいいわけです。

「逆」について考えてみましょう。たとえば「異常なし」。

これは、逆から考えれば「全てO.K.」ということ。それなら(「異常」はわからなくても) Everything is O.K.ときっと書けるはずです。

「オレに逆らうな」は、同じ要領で考えれば「オレの言うことに従え(を聞け)」と読み換えて Follow[Listen to] what I said. と書けるはず。Do it as I told you (to). 等と書いてもいいでしょう。

また「遠回しに言わないで」は「率直に言って下さい」と発想すれば、Tell me honestly. でもいいでしょう。

「逆」のもうひとつの例として「態」を変えるという手もあります。

例えば

「子供はよく世話をされねばならない」

という日本語を英訳する場合、(日本語は受動態ですが)能動態に直して読み直せばこんな英訳が出来上がります。

⇒ We[Parents] should take good care of our[their] children.

(3)英文の主語と述語動詞をどれにするかを見極めよ。

これはどの英作文参考書でもまず言われていることです。つまり作文で何よりも大切なのが「S」と「V」の決定です。特に大切なのは「V」つまり動詞の決定です。使う動詞の種類によって(主語はもちろん)、後ろの目的語をどれにするか、また全体をどんな構文でまとめるかも変わってくるからです。

動詞の語法についての力をつけるには「山下りょうとくのホームページ」内の「動詞の語法問題演習」がお薦めだ。文法・語法問題でも「動詞の語法」は最もよく狙われる単元。また読解でもこれがわからないと読めないことが多い。その意味で動詞の語法に対する知識を高めることは、全ての能力の土台を作るになるものと言える。

それから「S」に関して、必ずしも日本文の主語を(作ろうとする)英文の主語にしななければならないということはありません。全く異なる名詞を英文の主語にすることによって、英文がとても簡単にまとまることもあるものです。簡単な例をあげてみましょう。電話してきた相手に向かって、「妹に代わります」と言う場合、I'll get my sister for you. や I'll put my sister on. でもいいのですが、特に英語が苦手な人の場合、こんな表現はパツと頭には浮かばないものです。ならば my sister、つまり「うちの妹」を主語にしてこんなふうを書いてみてはどうでしょう。

⇒ My sister wants to talk to you.

中学英語で書いてしまいましたね。もう一題やってみましょう。以下の日本文の下線部をみなさんはどう訳しますか?

「帰り道、にわか雨に遭ってしまって、ずぶ濡れになってしまった」

「にわか雨に合う」は get caught in a shower という表現がありますが、これを知らなかった場合、(「ずぶ濡れになってしまった」も含め)どう書けばいいでしょう? こんなふうを書いたらいいのです。

⇒ It began to rain suddenly and I was very wet.

主語を(天候を表す)非人称の It に変えるだけでこんなに簡単に訳せてしまいました。

(4)文を短く区切って見る。

これは Keep it short ということ。日本文が一文で書いてあるからといって、必ずしも英文も一文で書かなければいけないということは全くありません。むしろ(英文は細かく区切って複数の文にした方が簡単な場合が多い)のです。ひとつ例をあげてみましょう。

「東京には数多くの種類の地下鉄が通っていて、駅の中も非常に複雑なので、田舎者の私には乗り換えに一つにしても難しく思えるのだ」

この日本文を英訳するとき、こんなふうに分けてみると楽に書けますね。

- ①「東京には数多くの種類の地下鉄が通っている」
- ②「そして駅の中も非常に複雑だ」
- ③「私は田舎者だ」
- ④「だから列車の乗り換えも私には難しく思える」

それぞれ英訳してみましょう。

- ① There are (so) many kinds of subways in Tokyo.
- ② And the inside of the stations is very complicated.
※これまでの考え方をすれば very complicated も(もしこの表現が浮かばなければ) not so simple でもいい。
- ③ I am a person living in the country.
= I am a person who live in the country.
- ④ So it seems to me that it is not easy to change subways.
※「地下鉄を乗り換える」は change subways。必ず subway は複数形にする。このあたりは、知識が必要。

この4つをつなげれば、正解になってしまうのです。

(5) unnecessary 言葉は削って文を簡潔にせよ (訳さなくても文意は伝わる場合がある)。

こちらは Keep it simple ということですね。

以下の日本語を英訳せよと言われた場合、どう書くのが一番簡単なのでしょうか。

「招いた側は、お客が箸(はし)をつけるまで待つものだ」

実はこんなふうには書けばいいのです。

⇒ Don't eat before your guest begins.

「招いた側」も「箸(はし)」も「つける」も「待つ」も英訳には要りません。削ってしまえばいいのです。「お客様が食べ始めるまで(自分が)食べてはいけません」と読み直すことができればこんなに簡単に英訳できてしまうのです。

なお begins の後には to eat が繰り返しを避けて省略されています(after を使って You should eat after your guest begins. としてもいい)。

(6)形容詞は、最悪 good か bad で言い換える。

たとえば「物は言いようだね」の場合、「君の言い回し[表現]は素晴らしい」と言い直せば Your expression is very good. でも何とか表現できてしまいます。あるいは「なんとも型破りな発想だよ」は、You have a very good idea. でもいいでしょう。また、「うちの亭主は服装に無頓着だ」は My husband has a bad sense of fashion. でもいいでしょう。

このように、その形容詞を表す英語を直接知らなくても、それが good 型なのか bad 型なのかを考えてみる。そして最悪 good / bad で表現できないか考えてみる。そうすると、意外にカンタンに英文が書けたりすることがあるものです。

(7)品詞を変えてみよ。

例えば日本文中の「名詞」をそのまま名詞で表現できなければ「動詞」や「形容詞」あるいは「節(S+Vの構造)」で書き直してみる。「形容詞」がそのままうまく英訳できなければ「副詞」に読み直してみる。そんな発想の転換が、英訳を楽にしてくれることがあるものです。

たとえば「孤独は思考を活性化する」という日本語を英訳しようとする場合、「孤独」は (be) alone と形容詞化し、「思考」は think と動詞化、「活性化する」は「より良く」という意味の better つまり副詞化して、こんなふうには表現することが可能です。

⇒ When we are alone, we think better.

この英文は「人は一人になると、ものをより良く考えられるようになる」という意味で、伝えたい内容としては元の日本語とほとんど変わりがありませんね。つまり合格レベルの英訳ということになります。

(8) 説明的に、その行動・機能・状況…などを文章に織り込んでみる。

これは実例で見た方が早いでしょう。例えば「私達は先週公園に花見に行った」という日本語を英訳しようとする場合、「花見」がわからなければ、それは「桜の花を見る」ということなのですから

see the cherry blossoms

と表現すればいい。そうすれば全体はこんなふう楽にまとまります。

⇒ We went to the park to see the cherry blossoms last week.

「ウェイトレスが私におしぼりを渡してくれた」という日本語を英訳しようとする場合、「おしぼり」がわからなければ、おしぼりとは「手を拭く(きれいにする)ための湿った(ハンド)タオル」のことですから

a moist[wet] (hand) towel to wipe[clean] my hands

と表現すればいい。そうすれば全体はこんなふう楽にまとまります。

⇒ The waitress gave me a wet (hand) towel to clean my hands.

説明的に文章に折り込む際の方法の一つとして、関係詞節や分詞句・不定詞句などの修飾語句をうまく使うといい場合もあります。

◎このテクニックは先程「聴衆」の英訳にも活用した。

一語でその語(表現)を英語で表せなくても(表せる表現を知らなくても)、関係詞節や分詞句・不定詞句を用いて説明的に訳せば、なんとか書けてしまうことがあるものなのです。例えば「使い捨て社会」を throwaway society と書けなくても、「一度使用したものは二度と使わないような社会」と読み直せば

⇒ a society where people never use things which were once used

と(中学英語で)表現できてしまいます。

「高齢化社会」も aging society と書けなくても「人口の中の高齢者の割合が高い社会」と読み直せば

⇒ a society where the rate of elderly[old] people in the population is very high

あるいは「人口の中にお年寄りをたくさん抱えている社会」と読み直せば、

⇒ a society which has many elderly[old] people (in the population)

と何とか処理できてしまいます(表現としては長ったらしくて「良い」とは言えないが、何も書けずに放置するよりとにかく「書けた」のだ)。

(9)内容を少し変えてみよ。

たとえば「明日試験だってね。頑張れよ」という日本語を英訳しようとする場合、「～だってね」がわからなければ「君は明日試験を受けると聞いています(聞きました)」と読み直せば

I hear you'll take an exam tomorrow.

で表現できてしまいます。「頑張れよ」は、同じようなシチュエーションで使う Good luck! で表現すれば、(多少内容は変化したとはいえ)合格ラインと言えるでしょう。繰り返しますが、70パーセント表現できれば御の字なのです。肩の力を抜きましょう。

💡「頑張れよ」は Do your best! でもいい。

それではここまでのプリエディティングのコツを参考に、次ページの問題演習にチャレンジしてみてください。手順・ポイントは

- ①(小学校一年生の弟[妹]に説明するつもりで)「字面に惑わされることなく、その日本語が要するに何を言いたいのか」をまず考えてみる。
- ②次に、それをベースに置いて、更に前述を9箇条のヒントを使って、自分が英訳できる和文を(頭の中で)作ってみる。
- ③それを英訳する。

です。

【問題演習】 次の日本語を英語に直しなさい。

(1) 「運動のし過ぎは有害無益だ」

(2) 「彼は職務怠慢のため免職処分と相成った」

(3) 「うちの姉は、化粧をすると別人だ」

(4) 「スミスさんは外国人にしてはとても日本語が堪能だ。彼の話す日本語のレベルと云ったらそれはもうこれ以上望めない域に達していると言っても過言ではなかろう」

(5) 「トムはナンシーに会いに行ったが、門前払いを食わされた」

(6) 「困ったときには迷わずに当方へおいで下さい」

(7)「彼女に日本の良さを納得させるには、その目で日本の生活を見てもらうに限ると、ついに彼女を招き寄せることにした」

(8)「テレビが普及してどのお茶の間にもあるようになった。その結果、家庭内の会話が少なくなり、深夜放送を見るために睡眠時間が減少しているのである」

(9)「英語を話せさえすれば国際人になれるといまだに勘違いしている人が大勢いるのは残念だ」

【解答&解説】

- (1) 「有害無益」の「無益」は要らない。削る。「有害だ」は「悪い」と読み換えたらいい。英作文のテクニックとして「形容詞の60%は good か bad で代用できることが多い」ということも覚えておこう。

「運動のし過ぎ」は too much exercise でいいだろう。

全体はこうなる。

Too much exercise is bad.

- (2) 「職務怠慢のため」は、要するに「一生懸命働かなかったから」。これは because he didn't work hard で十分。

「免職処分と相成った」は、要するに「仕事をなくした(仕事を解雇された)」ということなのだから he lost his job もしくは he was fired で十分だ。

全体はこうなる。

He lost his job because he didn't work hard.

- (3) 「別人だ」といっても、別に化粧をしたからといって文字通り「別の人間」になってしまうわけではない。「別人だ」というのは「別の人間のように見える」ということを言っている(伝えようとしている)。ならば

When she makes up, my sister looks like a different person.

と書けばいい(look like A(名)で「Aのように見える」)。

- (4) 「外国人にしては」は「日本人ではないけれど」と読み直せば though he is not Japanese と書ける(もちろん書けるなら for a foreigner という表現もある)。

「日本語がとても堪能だ」は is very good at (speaking) Japanese あるいは speaks Japanese very fluently でいい。

後半の「彼の話す日本語のレベル」は「彼の日本語」と読み直せば His Japanese でいい。

「それはもうこれ以上望めない域に達している」ということは「ほぼ完璧」なのだから、ここは is almost perfect で十分。

「～と言っても過言ではないだろう」は「～と言える」と読み直して You can say (safely) that S+V～、もしくはそれを受け身にして It can (safely) be said that S+V～とまとめればいい。

會もちろん「～とって過言ではない」は

・ It is not too much to say that S+V～

・ It is no exaggeration to say that S+V～

といった慣用的な表現もある。

そうすると全体はこうなる。

⇒ Mr. Smith is very good at Japanese though he is not Japanese.

You can say that his Japanese is almost perfect.

(5) 「ナンシーに会いに行った」は問題ないだろう。went to see[meet] Nancy がいい。

「門前払いを食わされた」ということは「彼は彼女に会えなかつた」あるいは「彼女は彼に会おうとしなかつた」わけで、he couldn't see[meet] her もしくは she wouldn't see[meet] him のどちらかでもいい (would は「過去の意志」を表す)。

全体はこうなる。

⇒ Tom went to see Nancy, but she wouldn't see him.

(6) 「困ったときは」は「トラブルの中にある場合は」と読み直せば When you are in trouble もしくは When you have some trouble でもいいだろう。

「迷わずに当方へおいで下さい」は「すぐ私達の方(ところ)に来てください」と読み直せば (please) come to us soon で十分。

全体はこうなる。

⇒ When you are in trouble, come to us soon.

(7)この問題に対する模範解答は以下のようなものだった。

Because we have reached the conclusion that the best way to convince her that Japan has its good points is to ask her to see life in Japan for herself, we have finally decided to invite her here.

しかしプリエディティングを学んだ君なら、もっと簡単に英文を書けてしまえるはずだ。

たとえば、「～するために」という(副詞用法の)不定詞を文頭に置いて、こんなふうにも書いてもいい。

(In order) To make her understand that Japan is a great country, I thought that the best way is to show the life in Japan. So I finally asked her to come to Japan.

ask O(人) to do[願形]～ で「Oに～するよう求める」。

あるいはこんなふうにも書いてもいいだろう。

I thought the best way to make her understand the greatness of Japan is to show the life in Japan. Therefore, I finally asked her to visit Japan.

To make her realize how wonderful Japan is, I finally asked her to come to Japan, since I thought the best way is to show the life in Japan.

- (8) 「テレビ」は、テレビの受像機のことをこの場合さしているので、TV sets の方がいい。「一台のテレビ」なら a TV set 。

TV sets have become[been] so common[popular] that you[we] can find one in every house.

もしくは

Today, most people have a TV set at home and every family has at least one.

後半部は

As a result, people talk less at home and sleep less to watch TV late at night.

- (9) 「～なのは残念だ」は、一番簡単な言い方は It is not good that S+V～ でもいい。not good は、書けるなら regrettable などの他の表現にしても可。

「英語を話せさえすれば」は if they can speak English。

「国際人になれるといまだに勘違いしている人が大勢いる」は、there are many people who still think that they can be international がいい。

最後に…

普段のトレーニングで「プリエディティング」力を付けるには、**一つの日本語を複数の表現で英訳してみる**のも良い方法です。

それからもう一つ大事なことは、先生に**こまめに添削をしてもらう**こと。プリエディティングの力は一人ではつくものではありません。書いたものを見て(添削して)もらうことにより、

「うまく書けてるね」

「これだと違う意味になってしまうよ」

「ここはこんなふうに考えて読み直せばもっと楽に書けるよ」

といった(英語がわかる人からの)的確なアドバイスを受けて始めて気付かされたり、自信を持つことができるものなのです。言い方を変えれば

「アッそうかあ! それでいいのか」

という瞬間を何回持てたかが、英作文向上のカギになるのだと思ってください。どんどん書いて、どんどん見せて学校(塾)の先生を困らせてあげてください。その回数分だけ君の英作文力は向上することでしょう。